

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0220
- 会長：小高 徹 幹事：高山 義則
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 高野 祐二・会報担当 石田 英世

2022年7月13日(水)

第24巻第2号

通巻第989号

<http://www.oamirotary.com>
E-mail: rc@oamirotary.com



本日の例会

点 鐘 会長 小高 徹
ソング それでこそロータリー
会長挨拶 会長 小高 徹
幹事報告 幹事 高山 義則
プログラム 平野ガバナー補佐訪問

1. 小高会長・高山幹事所信表明
2. 渡邊孝太会員自己紹介

ニコニコBOX

6/29(水) 小倉会長・石田幹事より
1年間、ありがとうございました。

7/6(水) 小高会長

本日より、2022-23年度 大網ロータリークラブの会長を務めます。1年間一生懸命頑張りますので、高山幹事共々、皆様方のご指導ご協力宜しくお願い致します。

高野祐二会員

応援している女子プロゴルファーの青木瀬令奈プロが先週の資生堂レディースオープンで優勝しました。ニコニコです。

大越将司会員

お誕生日祝い ありがとうございます。

昨日、健康診断があり、2kg体重が減っていたのでニコニコです。

清宮満巖会員

ゴルフで小高会長に勝利しました。

例会日	7月6日	6月22日
会員数	31	30
出席	20	18
欠席	11	12
M U	1	0
免除	4	4
出席率	80.65	73.33

会長挨拶

小高 徹 会長

皆さんこんにちは。

7月に入りまして暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。時折変わる天候にお身体、崩さぬようご自愛ください。

いよいよ、新年度2022～23がはじまりました。

本年度会長を務めます小高です。また、幹事役には、高山義則会員が務めます。1年間クラブ会員のみなさまにご協力いただきながら頑張りますのでよろしくお願いいたします。

はじめに、本日より、大網ロータリークラブ新会員となりました 渡邊孝太様ご入会おめでとうございます。クラブ活動を通じ、これから会員間の絆を深めて行きましょう。宜しくお願い致します。

本日のお客様です。千葉科学大学教授の大澤文護様、本日は銚子より、悪天候の中お越し下さいまして誠にありがとうございます。

大澤様には、本日の卓話をお願いしております。後ほど宜しくお願いいたします。そして、米山奨学生のニルシカさん、ようこそおいで下さいました。ありがとうございます

さて、本日、大網白里市緊急メール配信にて、7月6日(水)未明から夕方にかけて温帯低気圧が接近し、雷を伴う激しい雨が降り、大雨となる見込みです。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒してください。今後の気象情報に留意していただき、ハザードマップなどの確認をお願いします。とのメール配信が届いています。例会後お帰りの際には十分気をつけてお帰り下さいませようお願いいたします。

また、例年であれば、新会長の年度計画を発表するところですが、次週の例会で発表させていただきますので、みなさまの出席の程、宜しくお願い申しあげ挨拶と致します。ありがとうございました。

奨学金授与・誕生祝



米山奨学生 ニルシカさん



大越将司会員 S50 (1975) 7.29

1. 協議・報告事項

①活動計画書製作について
活動計画書製作料 石田会員へ 7/6(水)済

②会計報告 決算書作成中(板倉会計)
7/3(日)小高会長、高山幹事、板倉会計にて
予算作成
監査会開催予定
加藤監査役、小倉前会長・石田前幹事立会い
にて
7月13日(水)10時 開催

③ 寄付金のお願い
ロータリー財団
出席困難な会員名で特別寄付をする

・米山記念奨学会寄付(板倉達夫会員より預託)
・ネパール寄付・スリランカ食料支援
(四之宮由己会員より預託)

④大網白里市主催海行事(海開き式)
7/15(金) 開催予定
コロナ禍の為、環境協会、市長、職員のみで
行う。来賓も呼ばないので招待状は出さない。

⑤大網白里市の産業文化祭
開催検討中の為未定

⑥ロータリーカードについて
小高会長一任

⑦会員配偶者誕生祝について
小高会長一任

⑧第39回極真空手道千葉県選手権大会につ
いて
開催日時:2022年9月19日(月・祝日)
午後12時開会式
開催場所:千葉県武道館(千葉県総合スポ
ーツセンター内)
※今回は3年振りに有観客で開催しますが、
事前に個人が特定されている限定した人の
み入場可能。
例年通り広告申込する
7/4 ページ (B7) 10,000 円
7/10(日)申込済

セミナー会議及び今後の行事予定

●2022年規定審議会報告会

日 時:2022年7月16日(土)
16:00~17:00
会 場:アバホテル&リゾート東京ベイ幕張
幕張ホール
オンライン参加 小高会長・高山幹事

●第1回会長・幹事会(ホスト:茂原RC)

日 時:2022年7月22日(金)
18時より
会 場:竹りん
会 費:1人につき 7,000円
出席者:小高会長・高山幹事

ニルシカさん挨拶



千葉科学大学危機管理学部 危機管理学科のニルシカと申
します。
本日は、奨学金を頂き、ありがとうございました。
今日は、日本に来てからの感想をお話します。
留学を通じて日本の文化、 伝統を体験することは、勉強と
同じように重要であると思いました。
日本は豊かで安全、綺麗で清潔な国だと思います。
そして、日本人は親切で優しいです。

又、日本は社会制度、健康保険制度、交通の便、電気技術が優れていると思いました。
日本人の生活習慣は、初対面の人に会う時に握手ではなくお辞儀をする。
日本人の最初の印象は冷たく他人に対して無関心である様に感じられましたが、いったん友人
になれば一生の友人になれることを実感いたしました。

新入会員入会式



2022年7月6日入会

渡邊 孝太 会員

職業分類 弁護士・弁理士

役 職 名 代表



小高会長より、四つのテストとバッジが進呈さ
れました。

卓 話

2022年7月6日

千葉科学大学危機管理学部教授 大澤 文護(おおさわ・ぶんご)様

フィリピン大学レイテ分校の挑戦と課題



私は大学に勤務する前、毎日新聞社に32年間
勤め、そのうち20年を国際報道担当記者とし
て過ごしました。海外の出来事を日本の読者
に記事として届けるのが私の仕事で、20年
のうち15年は朝鮮半島担当記者、5年は東南ア
ジアや南アジア・南太平洋の国々取材する
記者でした。今日は、私がフィリピン・マニ
ラ支局長として勤務していた時に知ったフィ
リピン大学レイテ分校という、ちょっと変わった学校のお話をしようと思います。

<7月今後例会予定>

場所：中部コミュニティセンター

- ① 7月13日(水)
通常例会 点鐘 12:30
 1. 平野ガバナー補佐訪問
 2. 小高会長・高山幹事所信表明
 ※持ち帰り弁当有り
- ② 7月20日(水)
通常例会 点鐘 12:00
 会員卓話 板倉孝雄会員
 「消費税のインボイス制度について」
 ※持ち帰り弁当有り
- ③ 7月27日(水)
夜間移動例会 点鐘 18:30
 会場：古民家 もちづき
 会費：5,000円
 送迎バス有り
 ※詳細につきましては、後日ご案内させていただきます。

<8月予定 例会・理事会>

場所：中部コミュニティセンター

- ① 8月3日(水)
通常例会 点鐘 12:00
理事会中部コミュニティ 11:00
 例会案内
 1. 奨学金授与式 ニルシカ様
 2. 8月誕生祝い
 鈴木文夫会員・齋藤幸男会員
 泉恵子会員
 4. 卓話者 米山奨学生 ニルシカ様
 ※持ち帰り弁当有り
- ② 8月10日(水)
通常例会 点鐘 12:00
 卓話者未定
 ※持ち帰り弁当有り
- ③ 8月17日(水) → 休 会
- ④ 8月24日(水)
通常例会 点鐘 12:00
 卓話者未定
 ※持ち帰り弁当有り
- ⑤ 8月31日(水) → 休 会

◇「フィリピン大学レイテ分校」とは◇

フィリピン大学レイテ分校は国立の医科大学です。フィリピンは東南アジア諸国の中でも医療環境が悪い国です。第2次世界大戦前の100年間、米国の植民地だったため独立後も高等教育は英語で実施されてきました。当然、看護師や医師の教育はすべて英語です。そこにフィリピンの医療事情が悪い理由が隠されているのです。経済発展が遅れたフィリピンでは、大学を卒業しても良い働き口はなかなか見つかりません。医師や看護師も国内で良い職場を得るのは難しいのです。そこで英語が通用する米国や英国、アジアならシンガポールや香港などに行つて稼ぐようになります。大病院のある首都マニラならまだ医師は残りますが、地方の町や村には医師や看護師のいない地域がたくさんあります。その結果が、フィリピンの妊産婦死亡率や乳児死亡率の高さとなって現れたのです。こうした医療環境の改善を望んだ地方自治体は、貧困などが理由で進学を断念した成績優秀な学生の中から、将来地元に戻ることを条件に志願者を募集し、国立大学で、無料で医学教育を受けさせ、生活費も支給する制度の立ち上げを政府に要望しました。1976年、政府は地方自治体の要望を受け入れ、地域医療専門の医師や看護師を養成するフィリピン大学レイテ分校を開校しました。

◇地域医療を支える卒業生◇

この学校の特色は他にもあります。レイテ分校に入学した学生は、まずコミュニティヘルスワーカー(日本の保健師や助産師のような存在)過程で健康科学や公衆衛生の基礎知識を学びます。感染症予防のためにはきちんと手を洗うとか、バランスの良い食事を摂るとか、体を洗って清潔を保つとか、健康を保つための基礎的な方法を学ぶのです。この過程を修了した学生たちは地方に戻り、保健師や助産師として数か月間の実習を義務付けられます。そこで自治体から一定の基準を満たす活動が出来たと認められた学生だけが学校に戻り、看護師養成課程に入学します。そして看護師過程が修了すれば再び地元実習、自治体の認可を経て、学位を持つ看護師養成過程や医師養成課程に進むことができます。同校はこのシステムを「階段状カリキュラム」と呼んで、学生たちを厳しく指導しています。実際に医師養成課程まで進学できる学生はわずかな人数に限られます。少し古い資料になりますが1976年の開校から2013年までの37年間に同校から巣立った医師は151人に過ぎません。学位取得看護師218人、看護師504人、コミュニティヘルスワーカー2240人と、医療従事者の資格獲得は大変なのが実情です。しかし地域医療の重要性を強調する教育と地元研修を繰り返して経験した卒業生の95%が国内に残り、地域医療を支えています。

◇「日本で勉強したいですか」と聞いてみた◇

2013年、同校が巨大台風で壊滅的な被害を受けた時、私は支援のためフィリピンに行きました。その際、同校の卒業生に「日本に来て高度な医学教育を受けてみたくない」と聞いたことがあります。その時の答えが私の心に突き刺さりました。「行ってみたいです」と言った後、ある卒業生はこんなことを言いました。

「でも日本で最新の医療機器を使って診断や治療をしても、それがここで直ぐに役立つとは思えません」

フィリピンの地方には電気がない地域が多くあります。そんな場所でどうやって医療機器を動かせるのでしょうか。医療機器ばかりか十分な薬品もそろってなくても、彼らは要請があればどんな場所にも出かけて行って患者を診なければ

- ①2022年10月8日(土)
地区大会 第1日目
時間:13:00-17:00
会場:ホテル ザ・マンハッタン
- ②2022年10月8日(土)
RI 会長代理歓迎晩餐会
時間:17:30-20:00
会場:ホテル ザ・マンハッタン
- ③2022年10月9日(日)
地区大会 第2日目
時間:9:00-17:00
会場:アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
- ④2023年6月23日(金)
フェアウェルパーティ
時間:17:30-20:00
会場:ホテル ザ・マンハッタン
- ⑤2023年2月25日(土)
地区チーム研修セミナー
時間:13:00-17:00
会場:ホテル・ニューオータニ幕張
(会長・幹事は該当しません。)
- ⑥2023年3月18日(土)
第1回 会長エレクト研修セミナー
時間:10:00-17:00
会場:ホテル・ニューオータニ幕張
(※幹事は該当しません。)
- ⑦2023年3月25日(土)
第2回 会長エレクト研修セミナー
時間9:30-12:00
オンライン予定
- ⑧2023年4月29日(土)
地区研修・協議会
時間:10:00-16:00
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール
- ⑨2023年10月21日(土)
地区大会 第1日目
時間:13:00-17:00
会場:ホテル・ニューオータニ幕張
- ⑩2023年10月21日(土)
RI 会長代理歓迎晩餐会
時間:17:30-20:00
会場:ホテル・ニューオータニ幕張
- ⑪2023年10月22日
地区大会 第2日目
時間:9:00-17:00
会場:ホテル・ニューオータニ幕張
- ⑫2024年6月21日(金)
フェアウェルパーティ
時間:17:30-20:00
会場:ホテル ザ・マンハッタン

なりません。高度な医療機器の代わりに丁寧な診察を心掛け、最新医薬品の代わりに山の中に分け入って薬草を探しだす術を心得ています。重症患者をすべて助けることはできないかもしれませんが。しかし衛生状態の悪さから下痢に苦しむ子供の苦痛を和らげ、出産を控えた妊婦さんに地元で手に入る食材を使った栄養指導をすることができるのです。学生たちは「地域の要請に応える」ことが最大の使命だと言うことを理解していました。

◇留学生と私◇

大網ロータリークラブで今、お世話になっている千葉科学大学のスリランカ人留学生、ニルシカさんは、留学前に日本政府の予算で国際協力を実施する「国際協力機構 (JAICA)」という組織で、スリランカの現地スタッフとして働いていました。日本の開発途上国支援は建物や機械の提供に偏りがちです。日本政府の予算と技術で完成した立派な小学校の校舎が台風で被害を受けると、地元の力では修復できません。壊れた校舎はやがて廃墟となってしまうのです。

もちろん日本政府や JICA もそのことは十分に理解しています。今は物の提供から人材教育に重点を置いた支援を実施しています。現地支援の活動を日本人ではなく、地元のスタッフに任せるためです。地元スタッフを育成して支援を実施すれば、校舎が廃墟になるようなことはないでしょう。地元の実情に合った施設建設や技術支援が実現するはずで。

外国の人々と交流する時、本当に大事なことは「与える」「教える」ではなく、相互に何が必要か学び合うことだと思っております。

ニルシカさんは今、大学で母国の高齢者介護制度の改善について研究を重ねています。日本では高齢者は専門施設に預けるのが良いと考える人が増えてきました。しかし、スリランカでは「高齢者の面倒を見るのは家族」という考え方が今も主流です。しかし、それでは家庭の負担が重くなりすぎるのは、日本と同じです。ニルシカさんは、母国では介護施設をたくさん作るより、訪問介護の専門家を多く育成するほうが、母国の実情にあっていると考え、訪問介護の専門家を養成する学校作りのアイデアを練っています。その学校作りのヒントとして、私がフィリピン大学レイテ校の存在をニルシカさんに伝えました。

私のゼミには多くの留学生がやってきます。そして私は彼らから多くのことを学んできました。ニルシカさんが将来、日本で得た知識や経験の中から、母国で通用する技術やシステムを使って人々の暮らしを豊かにする存在に成長することを私は強く願っています。そして、それを実現するには、大網ロータリークラブの皆様のお力添えが不可欠です。

今後ともニルシカさんの成長にお力をお貸しくさせていただきますよう、心からお願いを申し上げて、今日の私の卓話を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

